



# NETWORK VOL.140

# TERRA



## 「教育はなかなか難しい。」

今年の夏は猛暑だ、猛暑だとマスコミも国民も大合唱。これが時過ぎて冬になると、今年の冬はことに寒いとくる。人間なんて得手勝手。自分中心の生き物。世界には、40度50度の中で生活している人もいる。先の戦争では酷暑のビルマ、ニューギニアの戦線でマラリア蚊に食われ、ヒルに血を吸われて死んでいった前途有為の多くの青年達もいるというのに。自分を取り巻く今のときだけで考え、他の国、歴史の状況を考えず、内向き思考になっている。

これから世界で生きる子ども達はこれではいけない。地域で、日本で、世界で多くの人々を知り、生活を知り、働き方を知り、共存できる人を育てる。夢の学校の目指すものはこんなところだろう。

世界に通ずる人は、人の気持ちかわかり、生活力たくましく、行動力も旺盛であってほしい。

それには少し旧式かもしれないが、苦勞をさせることが必要である。まず、衣食住に不自由な生活を体験させる。キャンプなどでも、全部自分達で最初から最後までさせる。何から何まで準備して、「ハイ、カレーを作りましょう」ではいけない。食料の生産を全行程でさせる。今、世間で行なわれている稲作りの田植え、稲刈りはままごとか遊びである。

自分で、自分達で一生懸命努力し、他人に学び汗を流した結果、人の苦勞も食べ物の大切さも仲間との協力も学んでいく。夢の学校の生徒は大地にしっかりと根づいた人に育ってほしい。

子どもにこうあってほしいと思うなら、大人もそうでなくてはいけないだろう。常時接する親や教師の宿命である。自分だけでかなわぬと思うなら、すぐれて一芸に秀でた人、人格者をつれてくことを考えよう。

何だか大変なことになって来た。古賀（武夫）さんの「つよく やさしく」じゃないが、「一所懸命にのんびりと」目的に向かって進んでいきましょう。皆さん、よろしくお願いします。

夢の学校をつくる会 理事長 江打 正敏

## CONTENTS ■ 2010秋

古賀武夫先生の言葉を辿る  
 敬天愛人 一隅より、世を照らさんー Vol.2  
 『西郷隆盛と古賀先生』

大野 博之 2

### ■地球市民の会

和顔愛語 佐藤 昭二 3

新カチガラス計画 in大串 4~5

ミャンマースタディーツアー&チャリモ 6~7

そーし・そーあい&講師派遣特集 8

アジアユースオーケストラ&  
 チャリティショップ「バーン・たわん」 9

15年前のポスターに出会って&事務局通信 10

協力者一覧&1万人キャンペーン経過報告 11

### ■夢の学校をつくる会

夢タマ新聞 夏休み号 12

夢の学校へかける思い⑩ 木下博和  
 私の考える教育とは ⑩ 外蔵真人 13

### ■和道流古賀道場

道場通信 14

### ■古賀英語道場

英語的思考のススメ 15

### ■「人間の翼」零戦復元機展示

15

### ■共同執筆

10~12月のお知らせ 16



## 敬天愛人

—一隅より、世を照らさん—

Vol.2

## 『西郷隆盛と古賀先生』

大野 博之



前号から「古賀武夫ブックレット 第三号『敬天愛人—一隅より、世を照らさん—』」から、古賀先生の言葉を辿っています。今号は一九九一年の言葉から。

『敬天愛人』は西郷隆盛が明治八年ころ、好んで揮毫した言葉でした。内村鑑三が「代表的日本人」のなかで西郷をとりあげ、「敬天愛人」を西郷の根本精神だとしたこと、西郷隆盛を表す言葉として有名になりました。

古賀先生は西郷隆盛を尊敬し、またその思想に共鳴するものも多々あったので、ブックレットに「敬天愛人」をタイトルとしたようです。それを端的に表すのが、この年の初めに書かれた文章「文明とは道の行はるるの言」でした。

これは日本青年会議所京都会議での「地球環境セミナー」で講演された内容が基礎となっています。環境問題の根本は肥大化させた「欲望」によって発展し続ける私たちの文明のあり方にあるということを主張されました。この危機を乗り越えるためには物質的欲望を精神的欲望に昇華させなければならないとして、西郷隆盛の遺訓集『南洲翁遺訓』（なんしゅうおおういくん）の第十一条を取り上げています。

『南洲翁遺訓』は多くの経済人の座右の書とされ、京セラ・KDDIの創業者で現在は株式会社日本航空の会長である稲盛和夫氏がその最筆頭といえるでしょう。主な内容はタイトルの通り西郷隆盛の考え方のエッセンスがまとめられており、本文四十一条、追加の二条、その他の問答と補遺から構成されています。「無私」つまり「我欲を持たない事」と、「天の真理の道を歩むこと」が上に立つもの（もしくは為政者）の最も重要なことだと論じています。

第十一条は「文明というのは道義、道徳に基づいて事が広く行われることを称える言葉であって、宮殿が大きく立派であったり、身にまとう着物が綺麗であったり、見かけが華や

かであるということではない。世の中の人の言うところを聞いてみると、何が文明なのか、何が野蛮なのか少しも解らない。自分はおつてある人と議論した事がある。自分が西洋は野蛮だと言ったところ、その人は、いや西洋は文明だと言いつ争う。いや、いや、野蛮だと言ったみかけて言ったところ、なぜそれほどまでに野蛮だと申されるのかと強く言うので、もし西洋が本当に文明であつたら開発途上の国に對しては、いつくしみ愛する心を基として、よくよく説明説得して、文明開化へと導くべきであるのに、そうではなく、開発途上の国に對するほど、むごく残忍なことをして、自分達の利益のみをはかるのは明らかに野蛮であると言ったところ、その人もさすがに口をつぼめて返答出来なかつたと笑つて話された。」というところで、この文頭が「文明とは道の普く行はるるを、賛称せる言にして、宮室の莊嚴、衣服の美麗、外観の浮華を言ふには非ず。」となつています。古賀先生はここからタイトルを援用されたようです。

ちようど同じころ 古賀英語・空手道場の道場通信「アイアムGENKI」平成三年三月月号では「大愚は小賢に優る」というタイトルで同じような内容の文章の発信をされています。古賀先生が好んで使つていた言葉は「人間本来無一物（にんげんほんらいむいちもの）」でした。禅に出てくる言葉で、曹洞宗の得度を得た古賀先生らしさが良く出ています。生まれたときは裸、死んでいくのも裸。人間は、本来、何も持たない。だから、生きていくのに最小限のものがあればいい。それはすでに天から用意されている。したがつて我欲を太らせていくということは、元來人間のすべき事ではない、ということをお酒席などでおっしゃっていました。我欲を捨て、物事をありのままに捉えることを悟るということをお「大愚」と古賀先生は考えていらつしやつたようです。

「大愚」は天台宗の有名な僧侶で第二五三世天台座主を勤めた山田 惠諦（やまた えたい）さんが有名にした言葉です。その著書『大愚のすすめ』（大和出版）の中で「大愚」と

は相手を第一に考え、自己を第二に置くということだとおつしやつています。これも古賀先生が平素おつしやつていたことと同じなで「大愚」の奥の深さを感じさせます。

また、『大愚のすすめ』は「お利口さん」になろうと、あくせくするな。自分を最低の位置に置いて、世界を眺めると、山川草木のすべてのものが先生になり、真実というものを教えてくれる、とも書いています。「お利口さん」とは「小賢」のことなのでしょう。つまり、小賢（こせけん）しい。我欲地位、名誉、財産、権力を得ようとする様々な努力を「お利口さんのすること」と考えるならば、そのために様々な知識や策略は意味がないということになります。

古賀先生は「小賢」は頭がいいので、物事を分断して論理的に捉え、自他の違いを明確にする定義しています。そうしなければ地位、名誉、財産、権力は獲得できないからです。しかしそこには「人を助けることは自分を助けることである」とともに「自分を助けることは人を助けることもある」という「自他」つまり、自即他という真理を頭がいいがゆえに論理的に把握できないので理解することができないと言っています。これが解るようになるには、物事をありのままにとらえ、自分の「我」と他人の「我」を区別せずに見ることができ、「愚かさ」が必要だと言っています。この視点を透徹できる力が「大愚」なのでしょう。

『南洲翁遺訓』第四十条は「南洲翁に従つて犬を連れて兎を追い、山や谷を歩いて一日中狩り暮らし、田舎の宿で風呂に入つて、身も心も、きわめて爽快になつたとき、悠々として言われるには『君子の心はいつもこのように爽やかなものであるかと思ふ』ということでした」ですが、この言葉から察するに、西郷隆盛は「大愚」だつたようです。そして、古賀先生のペンネームは小山大愚だつたことからも古賀先生が歴史上の人物でとして西郷に傾倒していたことは間違いなかつたのではないかと思ひます。

# 和顔愛語

佐藤 昭二

## 本物とは・・・

過日、お盆休みに三人の子供が孫達を連れて遊びに来た。

夜は決まって、我が家の花火大会となる。

幼い孫達にとっては、花火は何にも代えられない楽しみのひとつだ。

何十年ぶりかで私も参加した。

楽しいひと時であったと言いたいところでは有るが、残念ながらそうでは無かった。

線香花火が私の楽しい気持ちを台無しにしたのだった。

悲しいかな、線香花火が音と白い煙は出るが、ほとんど火花が出ないのである。

不良品かと思い、何回かやってみても結果は同じ、どれも変わらない。

シュツと・・・瞬間的に閃光が走って後は何も無い。

昔の、チリチリと飛び交うような様な火花、そして最後の方に出る火溜まりが無い。

かつての懐かしい線香花火の面影は全く無い。

包装紙には、昔の花火以上に色鮮やかに書いてあるのだが、中身はまるっきり違っていた。

何処で製造しているのかを調べてみると、中国製と書いてある。

中国製というとダンボール入り肉まんや、毒入りギョーザなど記憶に新しいが、「線香花火よ、お前もか」と、正に恐るべしである。

一番恐ろしいのは、ただ利益の追求のみに走って、此れを輸入している日本の企業である。真偽の程は分らぬが、人間の臓器までも売買の対照になっているとか・・・。

私は思う「未来の子どもの夢を喰う人間に未来はない」と。今こそ私たち日本人の役目は何であるかを知るときであろう。

中国4千年の歴史とテレビのコマーシャルは騒いでいるが、今の中華人民共和国は僅か60年、その前の中国の歴史は、血で血を洗う争いの歴史であり長期の安定した国家と言う事は殆ど無い。自国の民衆、特に子どもの未来のために国家を運営するという歴史が出来にくい理由はその辺りにある。

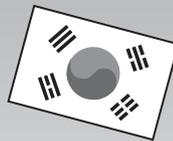
唯一無二の連綿と続く歴史を持っているのは、世界で只一つ2670年の歴史を持つ日本の天皇である。長く続くから熟成された文化や思想が持続され、ゆえに100年、1000年先の子どもたちの未来に身を砕き、心を痛めることが出来る民族性をもつことができる。

本物と偽物は歴史に照らし合わせれば、明確になって行く。現在問題になっている尖閣諸島問題でも必ず明らかにされていく。いずれ「数が多い」「声が大きいかから通る」は、通らない世界になってくると知るべきだ。

ちなみに、九州は久留米に昔ながらの方法で作っている線香花火屋さんが有るとか。値段も少しは高いが、其れは素晴らしい花火と聞く。今度たずねて行ってみようと思う。



# 日韓青少年交流 IN 佐賀市富士町大串集落



大成功で  
終わりました！

## 8月23日 (月) 竹細工体験

助成：(財)日韓文化交流基金  
佐賀銀行社会福祉基金  
佐賀県国際交流基金



大学生は実際竹を伐採して流しそうめん台を作りました。初めて見る道具に四苦八苦しながら協力し合って流しそうめん台を作りました。作業中も、地元の人に竹害のことや竹に関するレクチャーを受け、竹と共存する中山間地の生活を学びました。

みんなで竹の幹を切る

## 8月24日 地元の保育園児、地元老人クラブとの交流



午前中、地元の保育園で園児との交流。韓国の歌を紹介したり、23日作った流しそうめん台を使って流しそうめんをしました。

韓国の参加者からも好評でした。韓国人の日本語のうまさに園児からは「本当に韓国人??」という声も・・・。

午後からは、地元老人クラブの方々とゲートボール大会。日本人参加者も初めてのゲートボールでルールも分からず。みんなおじいちゃん達に教えてもらいながらやっていました。

初めての流しそうめん



真剣そのもの！  
指導にも熱が入ります！

## 8月26日 (木) そば撒き体験

富士町内の関屋集落で、そばの種まきを行いました。「1人最低1列まく！」と地元の人言葉に「え～大変！」との声も。ただ、作業が始まると芽がしっかり出るようにと、みんな真剣にやっていました。約2～3ヶ月で収穫できるとか。日本人参加者の中には「収穫も手伝いに行きます！」という意欲のある人もいました。空いた時間は、公民館近くの川で涼みました！



みんなとても楽しそう！



汗だくになりながらもすべてまき終えました



みんなで川遊び

## 8月28日 (土) さよならパーティー

最後は涙がとまりませんでした

みんなで集合写真

みんなで乾杯！最後の夜を楽しみました



大串での最後の夜、日韓の大学生それぞれ文化紹介、一人一言など、最後の夜をみんなで楽しみました。中には、別れを偲んで涙・涙の場面も。新かちがらすは、双方にとって大きな思い出になりました。

# 新かちがらす

実施期間:2010年8月22日(日)~29日(日)

## ●事業の目的は??

日韓の大学生が、自然豊かな佐賀市富士町で地元の方々と、自然体験や文化交流を通し、中山間地での現状や問題を学び、交流を深めることです。

## ●参加者は??

韓国の大学生9名(すべて女性)、日本の大学生10名でした。

韓国は釜山韓日文化交流協会のご尽力で、現地公募により集まりました。

## ●体験内容は??

- ・地元の人たちと集落散策 →大串集落自慢コンテスト
- ・自然体験(竹細工、川遊び、そばの種まきなどの農業体験)
- ・ホームステイ



## 8月27日・28日 大串集落散策と大串集落自慢コンテスト

参加者は3班に分かれ、各班1人ずつ地域の方に入ってもらい、案内をしてもらいました。

案内する地域の方の集落の歴史、の話を参加者は真剣に聞いていました。また、参加者からもたくさんの質問がでて、地元の人にとっても地域を再認識する機会になり、双方で学びがありました。

28日は、学んだ大串集落のことをマップに書き入れ、発表会をしました。



発表会



地元の方の案内で散策



写真などを貼って  
オリジナルのマップ作り

## 参加者の感想

- ホームステイをして、日本の家庭の様子など、知らなかったことを知ることができてよかったです。日本の学生達といろんな話もできるし、気の合う友達できて本当に良かったです。
- 楽しく体験ができてよかったです。お互いに日韓の誤解を解くこともできました。教科書では習わないことを勉強できた!
- いろんな人とつながりができた。国際交流だけでなく、山間部での生活も体験することができて、貴重な体験になった。
- 正直不安だったけど、みんなと過ごしていくうちに、仲良くなって韓国語も少しだけ覚えて、本当に国籍なんて関係ない、外国(韓国)の友達をつくれて、出会う可能性は少ない日本の学生と友達になれてよかった。

## 大串の方の感想

- 皆さん積極的にお手伝いをしてくれて、感心していました。
- 接していくうちに、本当の家族のような気ができて、別れが本当に寂しかったです。
- 家に来てくれた学生達の将来が、幸せであってほしい!と本気で思った。
- こういう国際交流はたくさんの誤解や矛盾点などを一気に解消してくれる。とてもいい企画だった。

感想を見るだけでも、皆さん本当にこの「新かちがらす」を楽しまれたようです。ホストファミリーの中では、今度みんなに会いに韓国に行こうという計画もできているとか・・・!! 怪我なく病気がなく終わったのも、大串の方々はじめ、ボランティアスタッフ、関係者のご尽力があったからです!  
この場をおかりして御礼申し上げます!ありがとうございました!!



カムサハムニダ!大串の皆さん!



# ミャンマースタディーツアー 行ってきました!

2010年最初のTPAツアーとなるのは、佐賀大生を中心とする元気いっぱいの11名が参加する「みんなでつくる!スタディーツアー」です。

まず今回のツアーの  
流れをご紹介します☆

- ①ツアー参加申込
- ②ツアー事前勉強会、企画会
- ③ツアーへ出発!
- ④報告会

ここで、ミャンマーで皆様に披露する出し物を決めたり、ツアーでどんなことがしたいか企画をします。

みんなが決めた  
今回の企画は・・・

出し物：ソーラン節、炭鋤節、「乾杯」の合唱  
企画：ホームビジット、小学校訪問  
文房具と古着を集めて寄付

ミャンマー人も歌えるんですよ

9/5 出発!

それでは、いったいどんなツアーになったのか、  
ハイライトをご覧くださいーい!

9/13 そして無事帰国☆

<みんなの感想>



初めての経験の連続で、とても充実した楽しい一週間でした。【ヒロ】

観光では得られない、充実感満載の、まさしくスタディーのツアーでした。  
人数もまとまるにはちょうどよく、みんなで体験したミャンマーは忘れられない地になりました。みなさん有難うございました。【キャサリン】

## 勉強だってしますとも!!

### 【村の訪問】

TPAの事業「養豚銀行」や「循環型農業」の実践地の視察。お金に困っている村の現状、でも助け合いながらみんな幸せそうに暮らしている・・・参加者はさまざまなことを感じたようです。  
「ミャンマーは貧しい国、でも彼らは貧しさしか知らない。そこにある助け合いの精神を我々も覚えて帰って方がいいと思った。」

### 【植林地見学】

生活に必要な薪のために木を伐採したり、畑にしてしまったりと、山には木がありません。そこで、TPAは植林事業と環境教育も行っています。見学したところは、戦争時代、日本が攻め込んだ村。村のおじいさんは「昔のことはもういい、今は日本人は教育をもってきてくれるから」と話してくれたそうです。その話を聞き・・・  
「よし!ここに森をつくるぞ!のんのん!」

9/6.7 タンボジ青少年育成センター



かわいい笑顔と少しの日本語で私たちを癒してくれたタンボジ生。子ども達のお世話役のタンボジのスタッフも皆優しい人ばかり!夜の交流会では、タンボジ生がダンスや歌を披露してくれ

ました。お返しは「ソーラン節」と「ラジオ体操」笑一緒にやったイスとりゲームはタンボジ生の圧勝!!



9/9 カックーパゴダ参拝



「いい人が入ってくると音が鳴る」というパゴダのてっぺんの飾りが、私達が入ってきた途端鳴り始めた!さて、「いい人」は誰なんですよ~

9/8 インレー湖観光

学校が休みだったタンボジ生と一緒に遠足へ。インレー湖の素晴らしい景色と、タンボジ生との楽しいひと時。言葉は違はずなのに、道中の船上では笑い声が絶えませんでした。



# チャリモ



みなさま、チャリモのサイトはご覧いただけましたでしょうか？  
この度、初めてミャンマーに行かせていただき、現地の学校建設のニーズを改めて感じました。村の人々はお金がない中でも、教育の重要性を感じ、村でお金を集めて学校をつくらうと頑張っています。村に学校がない子ども達は、2時間歩いて遠い学校に通います。チャリモはミャンマーの子どもたちの教育環境の改善を目指しています。あなたのお買い物でミャンマーの子どもたちを応援してください。

<チャリモとは・・・>

ミャンマーの学校建設を目的としたチャリティーネットショッピングサイト。  
皆様がお買い物をする時、企業はその利益の10～30%をTPAに寄付するしくみになっています。

<利用方法>

- チャリモの商品を購入するには、会員登録が必要です。  
① まずチャリモサイトへ インターネットで[<http://www.charimo.jp>]を入力  
② ページ右上の「会員登録はこちら」または、「マイページ」より会員登録を行ってください。  
③ サイト内で購入したい商品を「カート」に入れ、必要情報を入力していく。

QRコード



## <出店企業の紹介>

出店企業	(出品商品)
・株式会社大慶	(タジン鍋)
・ウエディングアイデュ	(ウエディングカード)
・つつえ窯	(唐津焼)
・日本ポーンチャイナ 株式会社(陶器)	
・(有)今心工房	(陶彩画)
・有明海苔株式会社	(海苔)
・(有)吉田陶芸	(有田焼すずり)
・丸秀醤油	(丸大豆醤油)
・有限会社ミマツ工芸(木工品)	
・みどりや茶舗	(嬉野茶、八女茶)
・窓乃梅酒造株式会社	(佐賀地酒)

## 9/12 さあ〜ドタバタ観光の始まりです！

たくさんの出会いと思い出の詰まったシヤン州を離れ、向かったヤンゴン。寝釈迦様〜でかっ！  
アウンサンマーケット！時間が足りない！  
シュエダゴンパゴダ！これぞトップオブパゴダ！てっぺんにはダイヤモンドが埋め込まれているそう・・・



## 9/11 おまちなね！ホームビジットと小学校訪問



みんなの希望した小学校訪問。リクエストに応じて2回も踊った「ソーラン節」に子ども達が寄ってくる！集めた文房具を寄付しました。

ミャンマー語も通じないポオー族の村のご家庭へ、2人一組でお邪魔しました。指差し会話帳を片手に、みんな心の交流ができたようです。ステキなお土産もいただきました。



## なんてったってスタディーツアー！

### 【農業体験】

循環型農業を学ぶ土着菌や堆肥作り、早朝のタンボジ生との農業体験など。タンボジ生はよく働く！とみんな関心していました。「同じ年くらいの子が何でも楽しそうに頑張っている。自分は勉強もイヤだと思ってやってる。自分について考えさせられた。」

### 【小規模水力発電見学】

11カ村に電気を供給している水力を利用した発電機。電気代を村の開発基金として使っています。次は基金で学校を作るのが目標だそう。「TPAが支援しているところは、受身ではなく、自分たちがどうにかしよう！という気持ちがあるのがスゴイ」

## 9/10 村人たちとどんちゃん騒ぎ！



18:30に、どこからともなく集まってくる民族衣装をきた村人たち。老若男女のその数はざっと100人を超えたでしょう。村の若者が私達を歓迎するポオー族の踊りを踊ってくれたあとは、輪になってみんなで踊って、それはそれは大賑わい！



「こんなに楽しい夜はない！」と参加者は大盛り上がり。

## サプライズ ☆バースデーパーティー☆

参加者のキャサリンとキムはなんとこの日が誕生日！こっそり買っておいだケーキでお祝いしました。ミャンマーのケーキのお味はいかが？



# 「そーしそーあい事業」ただいま実施中です！！

そーしそーあい事業とは？？

旧三瀬村・富士町の集落と、佐賀市内の校区との交流事業です。校区と集落の継続的な交流が期待できます。

## 【富士町市川集落から循誘校区へ】

7月29日（木）に富士町市川集落の人たちが循誘公民館へ、市川集落の魅力を説明に来てくれました。



市川魅力いっぱい説明会

参加した親子からは、「市川集落へ遊びに行きたい！」との声も。

帰りに、市川集落で採れたアスパラガスのお土産ももらいました。

次回は、10月16日に佐賀市赤松校区の親子と三瀬中ノ鶴集落の交流が行われます。また、佐賀市神野校区と富士町上合瀬集落の交流も10月30日に実施です。今後、この事業にどうぞご期待ください！

## 【循誘校区親子が富士町市川集落へ】

8月8日（日）に循誘校区の親子が市川集落へ遊び



一番盛り上がりました～川遊び

に行きました。参加者は循誘校区から約20名、市川の方も20～30名の方が迎えてくれました。

体験活動は、収穫体験（アスパラ、インゲン、ほうれん草）、川遊びなど。循誘の子どもの中には初めて川で遊んだ子どもも大変盛り上がりました。帰りにはカブトムシ、クワガタのプレゼントも！

このような交流がずっと続けばと願います！



みんな笑顔でち～ズ☆

# 「アジア・ユース・オーケストラ」 佐賀公演～地球市民の会が事務局として協力～

プロの音楽家を目指すアジア10カ国の17歳から27歳までの若者による「アジア・ユース・オーケストラ」の公演が8月21日佐賀市の文化会館大ホールで行われました。実行委員長は地球市民の会・顧問の土井敏行さん（佐賀県議会議員）が務められ、地球市民の会でバックアップさせていただきました。

今回は1000人の応募者によるオーディションで選ばれた107人が、マーラーの交響曲第5番などを力強く演奏しました。演奏者をホテルではなくホームステイで受け入れたり、その関連で本番前日には、ホストファミリーを中心にしたミニコンサートが各地で開かれたりと地域の元気応援プロジェクトになりました。

今回特に主催者がチケット販売に苦戦し、公演1ヶ月前、1,700席に対して50枚の販売枚数という絶望の状態でした。そこで、ホストファミリーを中心に佐賀県庁、佐賀市役所、佐賀新聞社さん、そして実行委員会のメンバーが「佐賀に来たアジアの若者が、コンサート会場がガラガラで悲しい思いをするようなことになれば、それは佐賀の恥だ」という思いでひとつになり、チケット販売に注力し、なんと、当日1,500人を越える観客の皆様を迎えることが出来ました。

ホームステイなどの心の交流プログラムがあちこちで実施されたこともありアジア10カ国の演奏者の若者の感激もひとしおで、日本公演（大分、京都、東京）が終了後、「佐賀での公演が一番印象深かった」と言ってもらえたのは嬉しかったです。また、当日演奏をお聞きになった方々も満足された方が多く、良い事業が出来たと思います。

この事業が成功した一番の要因は、佐賀県民の佐賀を愛する心、そしてお客様をもてなそうというホスピタリティの心だったのではないかと思います。

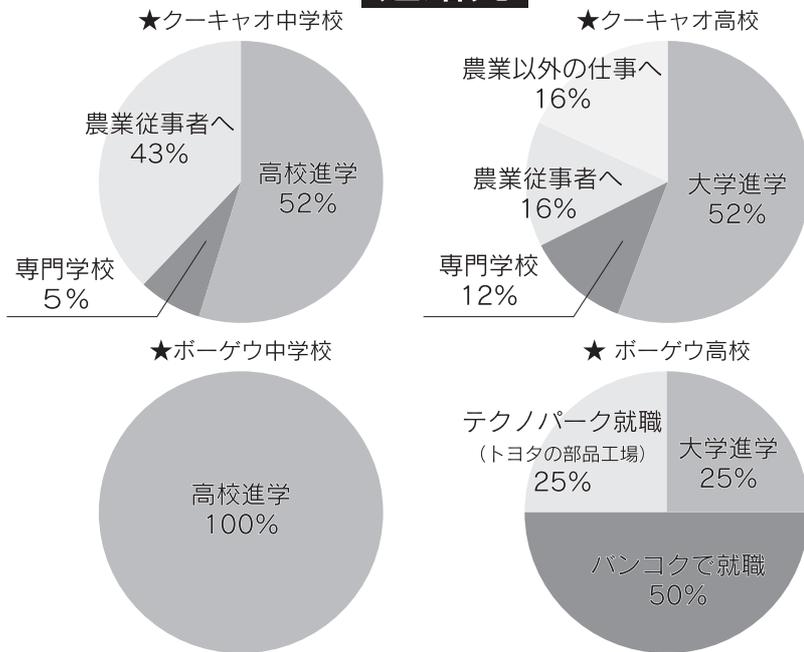


ホームステイの対面式でのミニコンサートの模様です。

# 子ども達の旅立ち ～2007年度奨学生 卒業報告～

2007年より日本の里親さんに支援を受けながら、学校に通っていた115名の生徒。3月に卒業、新しい道を歩み始めています。新学期スタートの慌ただしさをすぎ、クーキャオ校・ボーゲウ校の両校から卒業後の報告が届きました。

## 進路先



\*今年、中学生の高校への進学率が低いという結果になってしまいました。高等教育を受ける事ができるのは、半数ほどしかいないという事です。状況を調査中ですが、このタイ・イサーン地方でも、子ども達の教育環境の格差が広がっているのは確かです。本当に支援が必要な子ども達の支えとなれるように、タイ現地の先生としっかりと話し合いを持ちながら本年度も取組んでいきたいと思ひます。

**\*タイの子ども達に学ぶ喜びを!**  
今年も里親さんを募集中です。新年度の家庭訪問も終わり、本年度の奨学生を選んでいるところです。タイの子ども達を支える里親さんになりませんか?

- クーキャオ中 あと 32名
- クーキャオ高校 あと 5名
- ボーゲウ校 あと 15名



\*里親の皆さまには、進路報告のお手紙をお届けいたします。

## ◆アジアランチ会◆

里親さん同士の交流を深めたい! タイの子ども達のことを一緒に考えたい! と始めた里親さんの集い。9月11日(土)に第2回目が開かれました。里親さんをはじめ、活動をいつも支えてくださっている方々、また、タイのこと・地球市民の会のことが知りたいと学生さんからお子様まで、20名の方々と、お昼のゆったりとした時間を過ごしました。

### \*クッキングタイム

タイ人の留学生を迎えて、グリーンカレーと海鮮ヤム(春雨サラダ)に挑戦! 体の底からエネルギーが出てくるような辛いカレーと、夏の疲れを癒してくれるようなあっさりヤム。『男料理だっ!』とお子様方も、慣れた手つきで包丁を握ってくれました。『私の料理の味は、保障できないよ』と留学生。みんな美味しい美味しいとべろりと食べました。



### \*里子たちへメッセージ

参加者の皆さんからタイの子ども達へ、メッセージカードを作成。『なかなか一人では、里子ちゃんに手紙を書けなくて...』という里親さん。小さな紙に、いっぱい温かい思いが込められました。『愛する君へ! 笑顔を忘れずに頑張つてね!』『明るく笑顔で過ごしてね』『笑顔のある世界になりますように!』『学校楽しいですか? 元気で過ごしてください!』『勉強頑張つて。』



## ◆チャリティーショップ◆

『ばーん・たわん』開店して3カ月。『気軽に参加できる国際協力』として、多くの方々から支えて頂きながら、活動の輪を広げています。この間、沢山の洋服を頂き、寄付品整理や値段付けにボランティアさんが関わって頂き...佐賀地域独自の活動のかたちができつつあるなと感じています。

### \*損保ジャパンさんが取組みに力を

『新聞を見て...会社を置いている佐賀で、感謝の気持ちを込めて地域に貢献する活動をしたい』と損保ジャパンコールセンター日野課長代理からの電話。9月14日~15日の2日間、社内で『寄付品募集キャンペーン』でチャリティーショップ事業へ協力。2日間で、23名の方々から246点の寄付を頂きました。社員の皆さんから『家で眠っていた物だけど...タイの子ども達のために使ってください』と温かい笑顔。佐賀で、もっともつと活動の輪を広げていきたいです!



### \*ばーん・たわんでお買い物!

ニューポーン新古賀内で、皆さまから頂いた寄付品の販売中! スーツ、カバン、スカート等、品ぞろえ豊富。間もなく、秋物も並びます。活動の紹介もしておりますので、ぜひ、お立ち寄りください!

\*次回は...タイの子ども達を描いた映画鑑賞会を、11月13日(土)開催予定です。たくさん参加をお待ちしています!

# 15年前のポスターに出会って

川上 由紀子

川上由紀子さんは、1995年の第10回小さな地球計画でホストファミリーをしていただけました。もともと、古賀英語道場の大人の生徒さんでその関係からホストファミリーを引き受けていただいた経緯があります。そのときにホームステイをしたのが日本に留学していたイギリス人の学生だったジュリアンでした。素敵な交流があったようで、アットホームな素晴らしいスナップ写真を撮影されました。その写真を使って翌年第11回小さな地球計画の参加者募集のポスターを作製しました。このような出来事が15年経ってまた新しいプチドラマへと進展しました。その模様について、川上さんにレポートしていただきました。それにしても華奢でシャイなジュリアンがあんなに恰幅よい父親になっているなんて!!!

1995年 私は地球市民の会プログラムで当時イギリス、バーミンガム大学、学生のJulian Shindallと2週間、ホームステイファミリーとして生活を共にしました。それから



月日が流れ、彼は男の子3人の父親になっていました。しばらくはクリスマスカードを送るくらいのお付き合いでしたが、電話をしてみると彼が快く家に泊まってといってくれました。

夫は初めてのロンドン、ウィンブルドンテニス観戦の旅、私は2回目のロンドンを満喫してきました。天気は一週間快晴、6月のロンドンは気持ちの良い気候と緑豊かな町並みに、それにJulianの家族の暖かさを深く感じました。

私の泊まった部屋のドア内側には15年前のポスターが大事に取ってあって、そ



れを飾ってくれていました。そして15年前の話に花が咲き、帰りには、もっと長く滞在して欲しいといわれました。

15年前わけもわからず、ホストファミリーを引き受けましたが、そのときの小さな種が大きく育って、ロンドンですばらしい、大きな花になってそれを見る事ができました。彼は子供たちに日本語の数を教えていて、私たちに話してくれました。ピーター、ベン、ダニエル、次はあなた達が日本に来るときを待っています。また私たちもロンドンに行くチャンスを作りたいと思います。最後になりましたがこのような機会を与えてくださった地球市民のプロジェクトに感謝をしたいと思います。

地球市民の会  
事務局

## 行く人、来る人

ミャンマー調整員の鈴木亜香里です。1ヶ月間、佐賀で研修を受けたらすぐにミャンマーに行くはずが、なんと8ヶ月も佐賀に滞在してしまいました。その間、道場の古賀洋子先生や夢の学校の相良さんのお宅にホームステイをさせていただき、充実した佐賀ライフを過ごすことができました。事務所の皆と仲良くなることができ、とつても良かったです。今では佐賀弁もばっちり話せます！

これからはミャンマーに行き、ミャンマーの人たちのためにバリバリ頑張りたいと思います。ネット状態が悪いので回数は少なくなるかもしれませんが、ブログを通じて現地の様子をお伝えしていきますので、楽しみにしてくださいね！実はプライベートブログもやっているのでもし良かったら見てくださいね (<http://ngomyanmar.blog107.fc2.com/>)。皆さんがミャンマーまで遊びに来てくださることを楽しみにお待ちしております☆そいぎんた！



派遣

ミャンマーへ 鈴木亜香里

# 協力者一覧

## 正 会 員

井口 潔  
今泉 佳那子  
弥富 雅信  
神山 秀美  
北原 壽豊  
木村 方子  
古賀 慈猛  
古賀 大之  
古賀 智津子  
古賀 洋子  
古賀 田島  
堤 加奈子  
徳光 清孝  
永倉 理一郎  
中曾根 健三  
中溝 スミ子  
中本 正一  
西澤 和明  
西村 尚子  
野口 翔平  
野口 尚子  
福井 文一郎  
藤戸 博  
古川 昌宏  
水野 新平  
宮地 信文  
本村 満江  
山下 伸二

## 維 持 会 員

太田 記代子

## 購 読 会 員

高田 理恵  
牟田 泰明

## 学 生 会 員

相馬 真紀子

## 書き損じハガキ・古切手

真如苑 佐賀支部社会班  
東京海上日動火災保険(株)  
株式会社タクホ 田久保  
克明  
中尾 共子  
石塚 雅子  
(株)サガプリンティング  
矢新 教子  
佐賀北高通信制  
三井生命  
青柳 光美  
八坂木材  
株式会社読売西部アイエ  
ス  
古賀ひより こはる  
井上 祥子

## 寄 付 金

貝通丸 直子  
(有) 谷本建設 谷本啓太郎  
(有) 栗林米穀店 栗林正則  
安彦 英一  
福岡 福磨  
中溝 すみこ  
藤木 修

## クーキャオ中学

阿部 礼子  
池田 サチ子  
板垣 道代  
井上 弘子  
岩永 公代  
内山 治郎  
浦郷 めぐみ  
江頭 泰子  
江口 典子  
円城寺 久好  
大島 佐江子  
木下 博和  
倉富 博美  
小園 沢馬

佐藤 白井  
千住 保克  
田久保 明  
徳永 千恵  
中島 文津香  
中村 和洋  
西村 和利  
納江 直穂美  
野内 直穂美  
納富 ハヤ子  
智美 佐和子  
馬場 龍之介  
馬場 典子  
原田 啓子  
樋口 和枝  
彌富 修二  
平岡 修里  
平野 朋子  
福本 淑子  
藤木 修  
別頭 照代  
本弓 康澄  
前田 直美  
松瀬 直喜  
的野 信文  
武藤 鼓  
森永 勝馬  
山口 則子  
山下 雄司  
吉田 じゅんこ  
愛野 良治  
深川 明子

## クーキャオ高校

青柳 光美  
内山 治郎  
江頭 泰子  
円城寺 久好  
大塚 寿美雄  
大野 博之  
加藤 由紀子  
北村 尚道  
古賀 大之

小松 重輝  
佐々木 佳寿子  
里 長治  
千住 友二  
西山 峰次  
納江 幸利  
野内 直穂美  
祓川 清美  
平岡 修二  
松枝 和代  
的野 直喜  
森永 勝馬

## ボーゲウ校

池田 サチ子  
石川 祥子  
稲葉 田鶴子  
江口 はる美  
亀井 一恵  
北原 壽豊  
小園 沢馬  
佐藤 さち子  
田中 亜矢  
田中 理恵  
寺戸 純子  
戸田 玲子  
中尾 共子  
西岡 みゆき  
西村 賢二  
西村 正信  
納江 幸利  
平岩 佳名子  
寶泉 正美  
眞崎 健次郎  
松瀬 直美  
松林 久美子  
吉井 学  
吉田 史郎  
吉田 純子  
愛野 良治

## 里 親 会 員

富吉 由佳利

## スリランカ・シヨダヤ奨学金

野内 直穂子

## ばーん・たわんへ寄付品

花山 悦子  
副島 澄子  
山口 久臣  
佐野さん  
古賀 愛子  
本村 光江  
大塚 賢二郎  
飯盛 とみ子  
村山 和代  
池田 直子  
馬場 佐和子  
馬場 佐和子  
平山 紀美子  
納富 ハヤ子  
中村 洋子  
隈本 和信  
隈本 康子  
中島 照江  
田中 美穂子  
中村 小静  
馬場崎 道雄  
平石 道雄  
武藤 あゆみ  
大塚 賢二郎  
千住 智子  
池田 るみ子



※順不同で掲載させていただいております。  
※大変失礼ですが、敬称は省略させていただいております。いつも本当にありがとうございます!!

# 地球市民 感動共感 1万人プロジェクト 経過報告

2010年7月1日～9月13日の集計結果

カードを受け取ってくださった人数：のべ1968名 オリジナルグッズに交換された人数：2名

7月1日より始まった1万人プロジェクト。3ヶ月が経過した今、カードを受け取ってくださった方は1,968名。このペースでは、6月末までに1万人になるには少し難しいので、今後もイベントなどを通してたくさんの人と出会えるよう、努力していきたいと思っております!これから皆さんと感動を共感できるよう、頑張ります。応援よろしくお祈りします!!

## ～よくある質問～

Q.カードが3枚集まったのですが、どうすれば良いですか？

A.事務局にカードをお持ちください。オリジナルグッズと交換いたします。遠方の方は連絡先とカードの番号をお伝えください。グッズをお送りいたします。

Q.オリジナルグッズとは何ですか？

A.TPAオリジナルイラストが入った缶バッチを用意しております。限定50個ですので、品切れの際は別のもので代えさせていただきます。

Q.カードをもらうには、どうしたらよいですか？

A.TPAのイベントに参加する、古切手や書き損じハガキを集めてTPAに寄付する、ばーん・たわんでお買い物をする、などです。とにかく、地球市民の会の活動にご参加ください!

Q.イベントに参加したのに、カードをもらえませんでした。

A.申し訳ございませんでした。お渡ししそびれてしまうことも多々あるようです。その際は「カードをください!」と一声おかけいただけますと幸いです。

Q.直近のイベントは何がありますか？

・タイ里親の集い (毎月1回)  
タイの映画鑑賞など、楽しいプログラムをご用意しています。里親以外の方もご参加できますので、お気軽にお問い合わせください。

・ミャンマースタディーツアー報告会 (10月8日18:30～、佐賀大学にて)  
今回のツアーについて、学生さんが中心になって報告いたします。

・吉野ヶ里ふるさと炎まつり (10月23・24日、吉野ヶ里公園にて)  
ミャンマーに関するブースを出展します!とても盛り上がるお祭りです。

・冬フェス (12月4日、アバンセにて)  
佐賀大学の学生さんが中心となって行うお祭りです。地球市民の会もブースを出店予定です。

地球が教室

# 人、物、ふれ合う、出会う

**能** 600年の歴史



ワークショップの途中、子ども達が少々たるんでいました。

その時、「私達は真剣に取り組んでいます。先代の方達に申し訳ありません。

真剣に取り組む事は1年生だから、子どもだからと言う事は関係ありません。」

と一喝！！ 本気で叱ってくれる大人、感懐ある大人が必要な時代です。

**楽器** 本物の迫力



子ども達は本物の持つ魅力に圧倒。本物は肌で感じるのでしょうか。扱い方は真剣。大切に使う心、様々な楽器が持つ音色を感じた1日でした。

それにしても、オーケストラをバックに歌をうたえるとはなんと贅沢です。



夏休み号

夢々々新聞

H22・8

**人** 松元隆司トレーナー



なんと！！イチロー選手がオリックスブルーウェーブ時代のトレーナーが

地球市民の会に来られました。その際、夢々々にも顔を出されイチロー選手の写真を見ながらお話をさせて頂きました。子ども達はハンドマッサージでおもてなし。

一流のトレーナーをマッサージできるとは。

こんな出会いは大人になってから重みを感じるのでしょうか。

## ふれ合う アロマハンドマッサージ

佐賀市 アロマセラピスト ラビー(芳 香療法)を学ぶ小学生14人が2日、佐賀市の介護老人保健施設「ヘルスケア水ヶ江」(清水孝樹施設長)を訪れた。お年寄りの手を取ってマッサージを施し、交流を深めた。子どもたちは同市のNPO「夢の学校をつくる会」の小学1、4年生。アロマセラピーで人と触れ合うことを目的に「予防医療アロマセラピーサロン」(同市)の中尾朱美代表から指導を受けている。

佐賀市 老人保健施設「ヘルスケア水ヶ江」子どもセラピスト訪問

アロマセラピストたちは、植物の精油を配合した「キッズアロマトリートメントオイル」を小さな手で温め、マッサージの手を甲からひじにかけてオイルを塗り、手のひらや指の間まで丁寧にマ

新聞にも記載されました。古湯では、古湯温泉旅館の若々将セラピストの方々とも交流しました。

老人保健施設「ヘルスケア水ヶ江」のみなさん、古湯のみなさん

ふれ合いをありがとうございました。



アロマセラピストたちは、植物の精油を配合した「キッズアロマトリートメントオイル」を小さな手で温め、マッサージの手を甲からひじにかけてオイルを塗り、手のひらや指の間まで丁寧にマ

お年寄りは「思っさが伝わって」と笑っていたよ。気持ちが顔を見せた。(市原)

「何を子どもの優しさで。何よりの優しさで。」

H22.8.4 佐賀新聞より

\* 夢の学校をつくる会では、これから2~3年を見据えて活動内容と体制の錬りこみを行なっています。詳しいことについては、今後のネットワークテラでご紹介していきます。

武ちゃん語録

私達は地域的には田舎人であっても、意識の田舎っぺであってはならない。自分に目覚め、自分を信じ、誇りを持つことがなくて何ができるというのか。そのためには絶対によそを知らなければならぬ。(1987年)

「夢の学校への思い」⑫

# 自分の殻を破って！

監事 木下 博和



私の夢の学校との出会いは3年前の夏タマテ箱キャンプに参加したことから始まりました。そのあとも道場にお邪魔するようになり、現在では監事に指名頂き、運営の方にも参画させて頂き、大変感謝しております。

参加当時は私自身古賀先生との面識がなく、今思えば、古賀先生が亡くなられて初めての夏のキャンプで 相良さん土井さんを中心になんとか自分たちの手で素晴らしいキャンプにしたい熱い気持ちに導かれてお手伝いさせて頂きました。私自身古民家の廃材を使ったマイ箸づくりのワークショップができる事で、おかしらとして夏タマで子ども達がマイ箸づくりを体験しました。

子ども達は、生まれて初めて刃物を使うことに恐怖心を覚えますが、正しい刃物の使い方を習い、真剣な表情で竹を削って完成させた時の喜び表情をみると、子ども達の素直な心、磨けば光る大きな可能性を見る事ができました。自分自身、子ども達のように日々成長しているのか？いろいろなプログラムに参加しながら自分自身の勉強をさせて頂いています。

マイ箸づくりだけでなく、自分の殻を破っていく他にも沢山ある夢の学校のプログラムに子どもと一緒にワクワクドキドキして、そしてこの経験をもっともっと沢山の子ども達、大人達が体験していくことが理想である夢の学校の姿であり、実現するようにこれからもサポートしていきたいと思えます。



「私の考える教育とは？」⑫

# 生きる力

NICEリーダー 外蔵 真人

私は二度の「夏タマ」に参加しました。参加の動機は、日々の仕事に対する自分の気持ちに疑問を感じたことです。なかなか要領良く仕事をこなすことができない自分への苛立ちや、忙しさで心にゆとりをもつことができず、仕事をしていて楽しいと思えなくなってしまったのです。「自分は本当に子どもが好きなのか。」と感じ始めました。「もしもこれで楽しむことができなければ教員を辞めよう。」と、藁にもすがる思いでの参加決意でした。

そんな思いの中、子どもたちと一緒に川で思いっきり遊んだり、食事作りをしたりするなかで、自分の中のモヤモヤしたものが吹き飛んでいく感じがしました。子どもたちとの自然なつきあい方を思い出させてくれたような気がしました。

学校では、ある程度の管理が必要とされ、子どもたちとの一線を引かざるを得ない状況が多いと感じます。しかし、夏タマでは管理することはありません。子どもたちの自主性を尊重し、自分のことは自分でさせます。自分で決定させます。子どもたちに本当に身につけてほしい、生きる力とはこのことなのだと思います。夏タマでは、キャンプ中のプログラムを子どもたち自身に決めさせることをしますが、やはり子どもたちは自分たちのやりたいこと、好きなことを最優先させ、自分にとって辛いことや大変なことはつい避けてしまいがちではないかと思えます。これは学校現場でも同様のことが言えると思えます。

子どもたちの自主性を尊重することは重要だと考えます。しかし子どもたち自身があえて困難にチャレンジしていくことの必要性も欠かせません。これらのバランス取りが非常に難しいと、子どもたちと接していて日々感じています。

みんなでかくなっただぜ！！

2010夏！！

## ☆全国大会報告☆

## 記事1

松尾昌大、最後の全中に挑む！！（第18回全国中学生空手道選手権大会 於：宮城県）  
 中学3年の松尾昌大君が最後の全国中学生空手道選手権大会に出場しました。  
 去年に引き続いての出場で、経験、そして実績もつみ、大きく成長して臨んだ今大会でしたが、惜しくも、1回戦で涙を飲みました。来年進学する彼には、高校生という新しい舞台での活躍を着たいしたいと思います。

## 記事2

吉村3級兄弟、  
ドリームチーム！？結成

（第46回和道流空手同連盟全国大会 於：東京武道館）

古賀道場では、伝説的な存在である「吉村洋祐」「吉村直記」「吉村哲哉」の3級兄弟が初めてタッグを組んで団体戦に出場しました！！大会前より話題を集めたこのドリームチームですが、期待より稽古不足による不安の方が大きく心配されました。しかし、そこは伝説的存在。それなりの素晴らしい試合を見せてくれました。結果は1回戦で敗れましたが、来年もこのドリームチームが見られそうです。



## 記事3

光武裕介、  
少年少女に挑む！！

（第10回全国少年少女空手道選手権大会 於：東京武道館）

5年生の光武裕介くんが、2年連続で全国少年少女空手道選手権大会に出場しました。昨年は初めての出場で力を発揮できずに1回戦で敗れましたが、今年は去年の経験を、そして日頃の厳しい稽古の成果を活かし見事に1回戦を突破しました。まだ5年生の裕介くんには来年に向けてさらに大きく成長して欲しいところです。



## 記事4 松尾昌大、全国3位入賞！！

（第46回和道流空手道連盟全国大会 於：東京武道館）

松尾昌大くんが、今年の和道流全国大会で見事、中学生の部で全国3位に入賞しました。

1回戦2回戦とまったく危なげなく勝ち進み予選を突破。迎えた決勝トーナメント、準々決勝の相手を破り準決勝へと駒を進めるも、今大会優勝選手に惜しくも敗退。それでも、堂々の3位入賞を果たしました。



## 道場主のひとこと

今年は、全国という大舞台に出場した選手が述べ15名。出場選手みんなが、大きな成長を見せてくれました。大会に出場すると、大小様々でしょうが、プレッシャーや不安、緊張が押し掛かってきます。それを経験し、乗り越える事から一つ皮が剥け成長を見せてくれるものだと思います。試合を怖いと思う子も少なくないのが現状ですが、それを乗り越え、克服して欲しいと強く思います。大会に出場する事は己を成長させる上での絶好の機会です。

古賀道場の子ども達にはそんな大きな舞台をドンドン経験して欲しいと思い、日々厳しい稽古を付けている今日この頃です。

## ☆告知☆

## 幼児からの武道 古賀道場幼児クラス大好評開講中！！

水・金曜日の午後3時30分。古賀道場からは幼児の楽しそうな笑い声と、掛け声が響きます。年中さん（4才）から年長さん（5才）を対象に今年春から開講している幼児クラス。小さい頃から武道に触れ、強い身体作り、強い精神を作り、そして優しい心を養う・・・そんな幼児クラスを目指しています。現在10名の元気の良い幼児が楽しみながら稽古しています。

稽古日 ■ 水曜・金曜 午後3時30分～4時20分（50分）  
 月謝 ■ 3500円/月 入門料（初回のみ）・空手衣購入料別途必要  
 対象 ■ 年中さん～年長さん



## 道場通信

和道流  
古賀道場

「英語を体験すること」

「英語は道具に過ぎない！どう使う人間になるかということが大事だ！英語を使って何かをやれ！」恩師故古賀武夫先生から教えられたことです。

僕は古賀先生の言葉をうのみにして、英語を使えるようになることを前提で何をしたらいいのかを模索しました。日本でサラリーマンになったとしても英語を使う仕事に就くのは難しいと自分勝手ながら判断しました。やがて、日本では英語を使う可能性が広がらないと思い世界に飛び出しました。

世の中は、僕の幼少時代よりグローバル社会になりました。これから日本はもつと世界の一員として生きていかななくてはなりません。若者達が海外離れをしていると言われます。世界や時代の流れとは真逆で残念なことだと思います。外国に出ていかないのであれば、日本に居ながらも世界の一員だという意識を持つ「きつかけ」を大人達が与えなくてはならないと思います。

僕は今年の夏、Global Worksというプログラムを企画・運営してきました。JTB中部主催、中部国際空港（セントレア）が共催で英語を使いながらお仕事体験をするイベントでした。セントレアを舞台に空港らしいお仕事を六つ選び、「私の上司は外国人」としてお仕事の研修を英語で受けるという内容でした。一回四時間のプログラムを一日三回、十三日間行い、延べ約一五〇〇人の小学校三年生〜六年生が世界十カ国（ウズベキスタン、

オーストラリア、カンボジア、スリランカ、タイ、中国、ドイツ、バンダラシユ、ベトナム、モンゴル）の外国人と触れ合い、お仕事を通じて「英語を使う」ことや「英語が通じる」ことの喜びを体験しました。スタッフとして起用した名古屋大学の留学生にとっても素晴らしい体験になりました。

世界十カ国のスタッフはそれぞれの言葉を持っていますが、共通に通じ合えるのは英語なのです。そこで、初めて子ども達は英語を「学ぶ理由」が世界の人々と通じ合うことなのだと思感するのです。これはいくら説明をされてもなかなか分からないもので、体験をしてみてもやつと分かるものです。「英語を勉強すること」では無く、「英語を道具として使い、英語を体験すること」、これがまさに海外に出ていく意味なのではないでしょうか。

英語を使える日本人が本当に世界を舞台にして活躍することが必要なのであれば、海外離れをする若者が増えていることを社会問題と考え、グローバル人材を育成するための手段に本気で取り組まなくてはなりません。英語を日本人の子ども達に「何故学ばせたいのか」、「何故学校で学ばせているのか」と言うことを今一度見直し、英語教育の本来の目的は「世界で活躍できるグローバル人材を育むこと」なのだと思ひます。

# 英語的思考の スス× vol.2

古賀英語道場代表の青柳達也による連載コラムのスタートです。  
英語教育とグローバル人材教育というテーマについて、  
色々な視点から世の中を見つめながらコメントしてきます。

## 祝 人間の翼「零戦復元機」展示 入場者 36,000 人達成

### 三沢航空科学館訪問

9月11日(土)、今年3月末から10月24日までの予定で、青森県立三沢航空科学館で展示中の「零戦復元機」を見学に行きました。『日本の航空史100年記念イベント』の目玉として、福島以北には零戦の実物大が無いということで、展示が実現したものです。

3年前、一度展示のお話を頂いた際、当時復元実行委員会の代表だった古賀武夫先生は、青森に行くことを楽しみにされていましたが実現はならず、その時の先生の思い胸に、実行委員会の4名（古賀洋子さん、西村一守さん、山下雄司さん、山下春美）での訪問となりました。



科学館の規模の大きさに圧倒されながら、すみずみまで案内して頂き、一番奥の展示室に入ると見慣れた零戦が目に見え、12メートルの両翼を悠々と広げた復元機。

当初2万人の入場者を見込んでいたところ、9月初旬で既に36000人に達し、青森・秋田・山形・岩手・宮城など東北一円から見学者が訪れていると伺いました。

見学者のアンケートには、初めて見て触れる実物大の零戦復元機に様々な思いが寄せられ、今回の展示の役割の大きさを実感し、みちのく路を後にしました。

東北方面にお住まいの方、お出かけの方は是非、お出かけ頂ければ幸いです。（山下春美）



# 10月～12月のお知らせ

●は地球市民の会、♥は古賀道場  
★は夢の学校の行事です

## ●吉野ヶ里ふるさと炎まつり

日時：10月23(土)24(日)  
場所：吉野ヶ里公園

ミャンマーに関するブースを出展します！とても盛り上がるお祭りです。

## ●タイ・イサーン地方視察

日程：11月19日(金)～11月25日(木)

チャリティーショップの支援地視察を実施。女性を中心としたメンバーで、佐賀で活動する意義を学びにいきます。

## ●ミャンマーツアー

2月頃実施予定  
興味のある方、お問い合わせください

## ●冬フェス

日時：12月4日(土)  
場所：アバンセ

佐賀大学の学生さんが中心となって行うお祭りです。地球市民の会もブースを出店予定です。

## ♥第31回古賀英語道場英語劇祭

12月23日(木・祭日)  
エスプラッツホール

古賀英語道場の伝統行事である英語劇祭を今年も開催します。小学校2年生～大人の生徒さん達が楽しい英語劇を発表します。是非、見に来てください！

## ★夢の学校「笑う日」企画

### 三遊亭歌之介独演会

10月17日(日)

## ★ぼうけんタマテ箱

### どんぐりキャンプ

10月30日(土)～31日(日)

## ★夢の学校タマテ箱

### 古賀英語道場英語劇祭に参加

12月23日(木)



スタッフの  
ひとこと

# わたしが10さいだったころ

10歳の頃、どんな子どもだったか聞かせてください。好きな遊びや食べ物、好きだった人、当時の夢など、覚えているかな～？

## 地球市民の会

- 大野 博之** 昭和49年、テレビと外遊び、まさに20世紀少年の時代でした。小野田さんがルバング島で見つかり、佐藤栄作ノーベル平和賞、長嶋茂雄引退、金脈問題で田中角栄首相辞任、ドリフは荒井注から志村けんにメンバーチェンジ、フィンガー5、「ヒデキ、カンゲキ!」、ハイジもヤマトも始まりました。芸能界もアニメも何でもかんでも大ニュースで大騒ぎな日々でした。
- 西村 尚子** 熊のようなシェパードを飼っていて、バケツでエサをやっていたのを思い出します。散歩の時は、とてつもない恐怖だったのを覚えています。小さい時から犬と一緒に人生でした
- 江口 恵美** 遠い記憶ですが…10才の頃、ピアノや習字のおけいこ事もものにならず、どんくさく、おちゃめな子どもでした。ほとんど、屋外で虫を取ったり、川あそびしたり、神社もみんなの集う「あそび場」でした。毎日、たくたになるまであそんで、日が暮れて慌てて家に帰る毎日でした。
- 岩永 清邦** 10才の頃は、ちょっとぼちゃりしてました。毎日野球をしていたにもかかわらず、毎日1ℓの牛乳と3～4食の食事。部活が終わってからも友達と海や山に行ったりと、とにかく、自転車持ち出して、友達とずーっと動きまわっていた頃でした。
- 藤瀬 伸恵** 今では想像つかないと思いますが(?)、外で遊ぶのが大好きで、男の子とケンカしちゃうくらいやんちゃ娘でした。当時は交換日記が流行っていて、いろんな人と3冊ほど交換していたような…。もっぱら内容は好きな男の子やアイドルの話でした♡
- 鈴木垂香里** 10歳のときは神戸に住んでいて、ちょうど阪神大震災がありました。水が1ヵ月も出なくて大変でしたが、学校が休みになって「ちょっとラッキー」と思っていました。ドラマは「銀狼」がはっていたのを覚えています。そのころはまだ土曜日に学校があって、授業が終わったら急いで家に帰って吉本新喜劇を見るのが、正しい土曜の過ごし方でした。
- 戸田 玲子** 特にな～にも深いことを考えずにすごした気がします。学校が終わったら友達とかくれんぼしたり、色付きおにじり…とにかく毎日を純粋に楽しんでたと思います！夢学の子ども達とお話していると、「子どもの頃」を思い出して、何だかワクワクします。
- ムーア幸子** 部活始めが4年生で、バスケ部人生の始まりでした。優勝常連校だったので練習がけっこうハードでした。とにかく学校そっちのけ(?)で、部活にはげんでいた10才でした。その時を境に、目が少しずつ悪くなり出し、部活？マンガの読みすぎ？原因はわかりませんが、そんな時期だったとよく覚えています。

## 古賀英語道場・空手道場

- 古賀 大之** 10歳の時の私は、空手と英語と遊びに明け暮れる極々普通の小学生でした。野球に虫取り、買い食い、夜更かし…。いろんな遊びをしていた記憶はあるんですが、不思議な事に勉強した記憶がまったくありません。初恋…？それは食べられるものですか？
- 古賀恵美子** 10歳の時はたしか好きな男の子がいました。バレンタインにチョコをあげたのを覚えています。ホワイトデーにクッキーを一人でたべきれないくらいもらったので、友達と一緒に食べました。その彼とは中学生までよく遊んでいました。あの頃は楽しかったなあ～。
- 古賀 洋子** 時は永遠で、家族も永遠と一緒に、友達もたくさんいて、学校も楽しくて…。でも実際は、父の仕事がとても大変で、家にはお金がなくて、でも私達姉妹はそんなこと何も知らなくて、毎日本当に幸せに、笑ったり、きょうだいげんかしたりして過ごしていました。改めて、両親に感謝♥
- 青柳 達也** 10歳の僕は循誘小学校に通い、古賀英語道場で空手と英語を学び、牛島天満宮の境内で遊び、「ぶーぱっちゃん」や「にっしょう」で一日100円で駄菓子を買って食べながら健やかに子供らしく育っていたと思います。当時、外国人があまりいない佐賀でありにも背が高いビルのようなビル先生に出会ったことや、「たけの子交流」で鹿児島の子どもの会と交流をした経験は、僕が世界に飛躍する準備を着々とさせてくれたのだと改めて思います。翌年、僕は初めて韓国とアメリカに旅立つのでした…。

## 夢の学校をつくる会

- 吉村 薫** 遠～い昔の事ですね…。正義感が強く、「女のくせに」と言われるのが大嫌いな女の子でした。あの頃はスチューデス(当時)、弁護士、考古学者など、ちょっと偏った夢を持っていたかなあ。夢は実現しなかったけど、今あるのもあの頃を経たからですね。性格はかわってないかも…
- 相良 伸武** 生まれの私は、10歳のほとんどが5年生であり、大きな転機の時期でした。柔道一家に生まれ、物心ついた頃から柔道着を着ていた私は、小学校でサッカーにはまり、39歳の今も何とか続いています。サッカーではたくさんの良き友を得た私であり感謝していますが、柔道をもう少し続けられれば良かったと後悔する今日この頃です。

## 地球市民ネットワーク

- 北海道地球市民の会  
〒061-3214 北海道石狩市花川北4条2-197  
会長/阿部功 事務局長/新保知博  
TEL・FAX: 0133-74-1296
- 地球市民の会ふくしま  
〒963-8681 福島県郡山市喜久田町卸1丁目120-1  
榎石黒  
会長/事務局担当 石黒秀司  
TEL: 024-959-6426  
FAX: 024-959-6577
- 地球市民の会東京  
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-2-13  
会長/有澤正典 事務局長/佐藤敏行  
TEL: 03-3662-0331  
FAX: 03-3662-0400  
E-Mail: arisawa@nun.co.jp
- 地球市民ACTかながわ  
〒231-0821 神奈川県横浜市中区本牧原3-1-203  
会長/近田真知子 事務局担当/伊吾田善行  
TEL・FAX: 045-622-9661  
E-Mail: port@tpak.org
- 地球市民の会ぎふ  
〒501-6241 岐阜県羽島市竹鼻579-1  
竹花園内  
会長/森幹治 事務局担当/平井八重子  
TEL: 058-391-5415  
FAX: 058-391-8600
- 地球市民みえの会  
〒514-0027 三重県津市大門7-15津センターパレス3F  
津市市民活動センター内  
会長/伊藤洋之 事務局担当/秋葉幸信  
TEL: 059-226-5700  
FAX: 059-224-8911  
E-Mail: miemiemiemi21@hotmail.com
- 地球市民の会京都  
〒605-0873 京都市東山区下町島484  
会長/宮川尚子 事務局担当/西田一貴
- 神戸戸有頂天倶楽部  
〒657-0045 神戸市灘区下河原通3丁目4-3  
会長/松元隆司 事務局担当/大西陽治
- 愛媛地球市民の会  
〒799-0712 愛媛県四国中央市土居町  
入野859-1  
会長/森高康行 事務局担当/丹生谷宗久
- 北九州地球市民の会  
〒802-0006 福岡県北九州市小倉北区魚町1-5-14  
中央会館2F  
会長/河野一郎 事務局担当/大山研児  
TEL: 093-521-8181  
FAX: 093-551-2296
- 地球市民の会福岡  
〒814-0164 福岡県福岡市早良区賀茂2丁目30-4  
榎屋屋内  
会長/増田誠司 事務局担当/西村和寿  
TEL: 092-801-5888  
FAX: 092-801-5789
- (特活) コミネット協会  
〒861-8039 熊本市長嶺南2丁目5-31  
会長/池永憲貞 事務局担当/富田、田中  
TEL・FAX: 096-387-7139

■古賀英語・空手道場  
〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10  
TEL: 0952-25-2295  
FAX: 0952-26-4922

■夢の学校をつくる会  
〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10  
TEL: 0952-22-6262  
FAX: 0952-26-4922

## ネットワーク・テラ 秋号 VOL.140

発行/  
特定非営利活動法人 地球市民の会  
〒840-0822  
佐賀県佐賀市高木町3-10  
ホームページ: <http://tpa.nk-i.net>  
E-mail: [office@tpa.nk-i.net](mailto:office@tpa.nk-i.net)  
TEL: 0952-24-3334  
FAX: 0952-26-4922  
発行日/2010年10月19日  
発行人/佐藤昭二  
編集人/地球市民の会 事務局  
印刷/株サグラフィティング